

人生は琴の弦のように (1991)

邊走邊唱

LIFE ON A STRING

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 中国／日本／ドイツ／フランス／イギリス

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1992/09/12

公開情報 ヘラルド・エース=ヘラルド

【キャッチコピー】

黄河のほとり 砂塵が舞う大地に 盲目の老師と少年の弦の音が ひびきわたる 人間の生と死の 真実をもとめて 陳凱歌監督が描く 入魂の一作

【解説】

三年間のNY遊学生生活を終え帰国して撮った、各国資本相乗りの陳凱歌の歴史ファンタジー。この後、陳はより大資本を台湾・香港より集め大陸を舞台とした「さらば、わが愛／霸王別姫」を撮ることになる。中国に古来からある三弦琴の旅芸人で盲人の“神さま”と呼ばれる老師は、琴の弦を千本弾き切れれば目が見えるようになる、という先代の教えに忠実に修行の日々を重ねていたが、弟子で同じく盲人の石頭（シートウ）は旅先で寄った村の娘、蘭秀に夢中になり、老師はこれを心配した。とうとう千本まであと一本となった時、老師は“最後の弦は自分のためだけに弾く”と丘の上で奏で続け、遂に真昼の太陽の下、それは切れた。そして琴の中の処方箋を勇んで薬屋に持って行ったが、ただの白紙で、言い伝えのようにはいかなかった。ヤケになって酒をあおる老師。なじみのうどん屋（この造型は素晴らしい）の主人は“人生には良い舞台も悪い舞台ある”と師を悟す。一方、石頭は蘭秀との関係を村人たちに責められ、追い詰められた少女は身投げしてしまう。村に帰った師が盲人のままなのに驚く石頭に、師は“自分の琴を一本一本力を込めて弾け”と言い残し、村人たちの集まる中、最後の名演を披露し、そして……。意外に饒舌な映像での語りは気になるが、内蒙古、青海、山西と黄河上流域を股にかけた一大口ケが何より雄弁な作品だ。

【クレジット】

監督 チェン・カイコー Chen Kaige

原作 シー・ティエション

脚本 チェン・カイコー Chen Kaige

撮影 クー・チャンウェイ Gu Chang-Wei

音楽 チュイ・シャオソン Qu Xiao-Song

出演 リュー・チョンユアン

ホアン・レイ Huang Lei

シュイ・チン Xu Qing